

コロナ禍における女性のつながりサポート事業【富山県】

個別事業費	5,267千円
交付金額	3,950千円

地域の実情と課題

- ・令和元年度「男女間における暴力に関する調査」において、DVの被害経験があると回答した女性は**30%**と、男性(18.8%)に比べて、**11.2%**高い。
- ・「DV被害経験がある」と回答した女性のうち、**38.1%**の女性が「どこ(だれ)にも相談しなかった」と回答した。

事業の特徴

- ・孤独・孤立の状態にあり不安を抱える女性に対し、**「サロン」の開催**などを通じて支援を行う。
- ・NPO法人等の知見を活かした支援事業を行うことで、行政等の支援窓口や支援メニューの情報提供等を行う。

事業の効果

- ◆①サロンの開催 年9回
参加者延べ**296名** 相談件数**123件**
・相談者(参加者)の年代:20代~60代
- ◆②NPO法人等での実施
(相談業務・生理用品の配布等)
委託先:**12団体** 相談件数:**409件**

目的・目標

項目	R4年度	R5年度
サロン開催回数	8回	9回
サロン参加者数	207名	296名

連携団体

- 女性支援(サロン交流活動、DV被害者支援団体、見守り等)
- 生活支援(フードバンク等)
- 子育て支援(こども食堂、ひとり親支援等)
- 福祉支援(社会福祉協議会等)

今後の課題

SNS広告や新たな試みである公共交通機関でのポスター掲示等の実施により、サロン参加者が増加(前年度比:1.43倍)したと推測されるが、まだ対象者を掘り起こす余地があると考えている。

今後は、再委託先のNPO法人等民間団体との協力体制を強化するなど、より多くの人に支援が行き届く体制づくりに取り組む必要がある。

事業の概要

(1) サロンの開催

女性を支援するNPO法人等と連携し、カウンセラー等による専門相談を、月に1回程度実施する。サロンにおいては、悩み相談のみならず、不安を抱えた女性が参加しやすいようなイベント開催も含む。

(2) 関係NPO法人等からの支援

(生理用品等の購入、カウンセリングの実施)

県内のNPO法人等（地域活動団体12団体）について、NPO法人等が既存のネットワークを活用した女性支援を実施。

区分	限度額	委託件数	経費(具体例)
(1) 生理用品・衛生用品の配布を行うための物品購入費用 (2) 相談実施にかかる経費	(1) 上限 5 万円 (2) 上限 5 万円	12件	・消耗品費 (生理用品、マスク、消毒液のみ) ・賃金・謝金 (相談実施に係る人件費) ・旅費 (相談実施に係る交通費)

